

三重大学大学院  
工学研究科博士前期課程

**学 生 募 集 要 項**  
(推薦による選抜)

令和4年4月入学（一般・外国人留学生）

令和3年10月入学（外国人留学生のみ）

令和3年5月

## 【 入 学 試 験 日 程 表 】

＜推薦による選抜(10月入学含む)＞

内 容	日 程		掲載ページ
障がい等のある入学志願者との事前相談	令和3年6月4日(金)まで		12～13ページ
入学資格審査申請期間	令和3年5月17日(月)～5月28日(金)		3ページ 8ページ
入学資格審査結果通知	令和3年6月10日(木)以降		3ページ 8ページ
出 願 期 間	令和3年6月14日(月)～6月18日(金)		4ページ 9ページ
選 抜 試 験	令和3年7月8日(木)		6ページ 10ページ
合格者の発表	令和3年7月16日(金)		6ページ 11ページ
入 学 手 続	令和3年10月入学	令和3年9月14日(火)～21日(火)	11ページ
	令和4年4月入学	令和4年3月下旬	6ページ

- 「注」1. 各内容の詳細については、該当の掲載ページで確認してください。なお、掲載ページが2段になっているものは、上段が令和4年4月入学、下段が令和3年10月入学の掲載ページです。
2. 新型コロナウイルスの感染状況によっては募集要項に記載のある出願要件、出願期間、試験日及び入学試験の実施方法等を異なる内容に変更する可能性があります。変更のある場合は工学研究科ホームページにて掲載する予定です。
- 三重大学大学院工学研究科ホームページ <https://www.eng.mie-u.ac.jp/>

# 目 次

○ 三重大学大学院工学研究科博士前期課程アドミッション・ポリシー	1
○ 三重大学大学院工学研究科博士前期課程入学試験について	1
○ 令和4年度（令和4年4月入学）三重大学大学院工学研究科博士前期課程	
推薦による選抜学生募集要項	
Ⅰ. 募集専攻及び選抜別募集人員	2
Ⅱ. 出願資格	2～4
Ⅲ. 出願手続	4～5
Ⅳ. 入学者選抜方法等	6
Ⅴ. 合格者の発表	6
Ⅵ. 入学手続	6
○ 令和3年度（令和3年10月入学）三重大学大学院工学研究科博士前期課程	
推薦による選抜学生募集要項	
Ⅰ. 募集専攻及び選抜別募集人員	7
Ⅱ. 出願資格	7～9
Ⅲ. 出願手続	9～10
Ⅳ. 入学者選抜方法等	10
Ⅴ. 合格者の発表	11
Ⅵ. 入学手続	11
○ 各選抜共通事項	
Ⅰ. 障がい等のある入学志願者との事前相談	12～13
Ⅱ. 入学検定料の返還について	13
Ⅲ. 大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例措置	14
Ⅳ. 長期履修学生制度	14～15
Ⅴ. 個人情報の利用	15
Ⅵ. 三重大学大学院研究科に入学する私費外国人特待留学生制度募集要項	16
○ 三重大学大学院工学研究科（博士前期課程）の概要	
Ⅰ. 工学研究科組織図	17
Ⅱ. 各専攻の紹介	18～22
○ 三重大学大学院工学研究科案内図	23

## 三重大学大学院工学研究科博士前期課程アドミッション・ポリシー

### ○ このような人を育てます

工学研究科の博士前期課程には、機械工学、電気電子工学、分子素材工学、建築学、情報工学及び物理工学の6専攻が設置されています。地域・国際社会の発展と福祉に貢献することを目的とし、学際的・独創的・総合的視野を基盤にした専門的な工学の研究を通して、高度な専門技術者及び研究者としての基礎的能力を備えた人材を養成します。

### ○ このような人を求めます

- ① 高い志を持ち、高度な専門技術者や研究者を目指す意欲にあふれる人
- ② 工学研究に必要な基礎学力をもち、専門分野における知識と技能を学ぶために必要な実践、応用及び創造の能力に富む人

## 三重大学大学院工学研究科博士前期課程入学試験について

本研究科博士前期課程では、「大学等で学び得た知識や技能を本研究科でさらに発展・応用させ、より高度で専門的なものにしたいという強い意志を持つ者」、「企業や官公庁、研究機関等で積み上げた経験を生かし、大学院でさらに高度で専門的な研究を希望する者」、「技術先進国である日本で高度な知識や技術を学び、母国や世界に貢献したいという志を持つ者」といった多様な学生を積極的に受け入れ、研究・教育活動をより活性化させる目的で、「推薦による選抜」・「一般選抜」・「社会人特別選抜」・「外国人留学生特別選抜」の4種類の入学者選抜試験を実施しています。

選抜試験により出願資格・入学者選抜方法などが異なりますので、詳細については本募集要項をご確認ください。

令和4年度（令和4年4月入学）  
三重大学大学院工学研究科博士前期課程  
推薦による選抜  
学生募集要項

**I. 募集専攻及び選抜別募集人員**

専攻名	推薦による選抜 募集人員
機械工学専攻	実施しません
電気電子工学専攻	20名
分子素材工学専攻	実施しません
建築学専攻	実施しません
情報工学専攻	実施しません
物理工学専攻	10名
計	30名

※入学後、博士課程5年一貫コースを選択することもできます。

**II. 出願資格**

下記の①～⑤のいずれかに該当する者で、志望する専攻に関する分野の学科・専攻等に在学し、学業成績が優秀な者として指導教員（外国人留学生の場合は、受入れ予定教員）から推薦され、合格した場合には入学を確約できるもの。

- ① 学校教育法（昭和22年法律第26号）第83条第1項に定める大学を令和4年3月に卒業見込みの者
- ② 高等専門学校又は短期大学の専攻科（大学改革支援・学位授与機構より認定されたものに限る）を令和4年3月に修了し、学校教育法第104条第7項第1号の規定により大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与される見込みの者。
- ③ 大学改革支援・学位授与機構が認定した大学以外の教育施設（各省庁大学校）の大学学士課程に相当する課程を令和4年3月に修了し、学校教育法第104条第7項第2号の規定により大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与される見込みの者
- ④ 令和4年3月31日において、大学に3年在学する見込みの者であって、本研究科電気電子工学専攻の定める単位を優秀な成績で修得したと認める者。
- ⑤ 外国において学校教育における16年の課程を修了した者もしくは令和4年3月31日までに修了見込みの者で、次のいずれかに該当する者
  - a) 国費外国人留学生として採用予定の者
  - b) 三重大学の大学間及び学部間交流協定校を卒業した者又は令和4年3月31日までに卒業見込みの者で、且つ日本語能力試験レベルN2以上または各種英語能力試験においてCEFR B1相当以上であり、GPAが2.5以上である者。

- 「注」
- 1 在学する学科・専攻等が、志望する専攻に関する分野であるか判断しがたい場合は、出願前に三重大学工学研究科チーム学務担当に問い合わせてください。その際、在学学校の学業成績証明書、シラバス等が必要となる場合があります。
  - 2 外国人留学生で合格し、入学しても、「留学」の在留資格を取得していない場合は、留学生（「留学」の在留資格を有する者）を対象とした各種奨学金や学生寮等への申請資格はありません。

3 出願資格④による出願を希望する者は、以下の手続により事前審査を受けてください。

1) 申請期間

令和3年5月17日(月)から5月28日(金)17時まで(必着)

2) 申請方法

申請期間内に以下の<入学資格審査申請書類等>を、郵送により三重大学工学研究科チーム学務担当へ提出してください。(ただし、海外在住者については、「Ⅲ. 出願手続 (4) 海外からの郵送を伴う書類の提出について」に記載のとおり、電子メールによる申請を認めます。)

<入学資格審査申請書類等>

書 類 等	出願資格	摘 要
ア 入 学 資 格 審 査 申 請 書	④	【本研究科所定の用紙】
イ 履 歴 書	④	【本研究科所定の用紙】
ウ 在 学 大 学 等 の 在 学 証 明 書	④	出身大学(学校)所定のもの (本学工学部在学者は不要です。)
エ 在 学 大 学 等 の 成 績 証 明 書	④	発行者において厳封したもの
オ 在 学 大 学 等 の 教 育 課 程 表 (写 し)	④	履修案内や授業要目に記載されている、授業科目表及び卒業(修了)要件のコピー (本学工学部在学者は不要です。)
カ 志 望 理 由 書	④	【本研究科所定の用紙】

3) 申請に関する注意事項

- ① 【本研究科所定の用紙】は、事前に三重大学工学研究科ホームページにてダウンロードしてください。
- ② 郵送により申請する場合は、「書留郵便」としてください。なお、申請期間を過ぎて到着したものは受理いたしませんので、郵便事情を考慮のうえ、余裕を持って発送してください。
- ③ 電話・FAX・電子メール等による申請は受け付けません。(ただし、海外在住者については、「Ⅲ. 出願手続 (4) 海外からの郵送を伴う書類の提出について」に記載のとおり、電子メールによる申請を認めます。)
- ④ 申請書類の提出後の内容変更は認めません。

4) 入学資格審査の方法及び審査結果の通知

入学資格審査は提出された書類により行い、審査結果は令和3年6月10日(木)以降に本人宛に速達郵便にて通知します。また、入学資格が認定された者には「入学資格認定書」を交付します。

5) 入学資格認定後の出願手続について

- ① 入学資格を認定された者は、結果通知とあわせて送付する案内と、「Ⅲ. 出願手続」(4~5ページ)に基づき、出願の手続を行ってください。
- ② 出願書類のうち入学資格審査申請の際に提出した書類については、再提出の必要はありません。

6) 最終成績審査

合格した者に対し、令和4年3月に出身大学等の成績証明書により最終成績審査を行います。審査の詳細については、合格通知書を送付する際に改めて通知します。

7) 出願資格④に関する注意事項

出願資格④により本研究科に入学した者の学部学生としての学籍上の身分は退学となりますので、種々の国家試験、資格試験で大学の学部を卒業することを受験資格としているものについては、受験資格がないこととなります。

### Ⅲ. 出 願 手 続

(1) 出願期間

令和3年6月14日(月) から 6月18日(金) 17時まで (必着)

(2) 出願方法

入学志願者は、出願期間内に以下の<出願書類等>を、郵送により三重大学工学研究科チーム学務担当へ提出してください。(ただし、海外在住者については、(4) 海外からの郵送を伴う書類の提出についてに記載のとおり、電子メールによる出願を認めます。)

<出願書類等>

	書 類 等	摘 要
ア	入 学 志 願 票	【本研究科所定の用紙】 記入の際は、志願票裏面の「入学志願票記入要領」を参照してください。「振込証明書」を所定の欄にはがれないように、のりで貼り付けてください。 なお、入学志願票に記載する住所に合格通知書等を送付します。
イ	受 験 写 真 票 ・ 受 験 票	【本研究科所定の用紙】 出願前3か月以内に撮影した、縦4cm、横3cm、無背景、無帽、正面向きのものを、所定の枠内にはがれないように、のりで貼り付けてください。
ウ	入 学 検 定 料	30,000円 ※振込手数料が別途必要となります。 振込の際には、振込用紙に記載の【納入方法】と【注意事項】を必ずお読みください。 (日本政府(文部科学省)国費外国人留学生は不要です。)
エ	卒 業 (見 込) 証 明 書 等	出身大学等の所定のもの(本学部在学者は不要です。) 高等専門学校専攻科在籍者等の出願資格②により出願する者は、学士学位取得見込証明書を併せて提出してください。
オ	出 身 大 学 等 の 成 績 証 明 書	出身大学等の所定のもので、発行者において厳封したもの 高等専門学校専攻科在籍者は、本科及び専攻科の成績証明書を提出してください。
カ	受 験 票 送 付 用 封 筒	長形3号の定形封筒に、郵便番号・住所・氏名を明記し、374円分の郵便切手を貼ってください。(海外在住者は不要です。)
一	健 康 診 断 書	【本学所定の用紙】 出願期間中に外国に在住している者(日本国籍を有する者を含む)で、受験するために新たに渡日する者は、健康診断書(本学所定の用紙)を提出してください。詳しくは下記アドレスで確認してください。 <a href="https://www.eng.mie-u.ac.jp/admission/graduate/">https://www.eng.mie-u.ac.jp/admission/graduate/</a> ※受験するために渡日しない場合は、合格発表後速やかに健康診断書(本学所定の様式)を提出してください。
一	三重大学私費外国人留学生特待生(入学料及び授業料免除型)	【本学所定の用紙】 三重大学では優秀な留学生を受け入れるため、入学料及び授業料を標準修業年限の間全額免除する三重大学独自の奨学生制度を2019年度から実施しています。詳しくは16ページを確認した上必要書類を提出してください。
キ	推 薦 書	【本研究科所定の用紙】 在学大学等の指導教員が作成し、厳封したもの
ク	志 望 理 由 書	【本研究科所定の用紙】

出入国管理及び難民認定法に規定する「留学」の在留資格を取得又は取得見込みの外国人（日本国籍を有しないもの）は下記の書類も提出してください。

書 類 等		摘 要
ケ	日本語能力を確認できる書類	JASSO（日本学生支援機構）が実施する日本留学試験においてN2レベル以上であると認められる方。 出願資格⑤b）において日本語能力により出願される方のみ提出してください。
コ	英語能力を確認できる書類	文部科学省による各資格・検定試験とCEFRとの対照表（別紙）においてB2以上であると認められる方。 出願資格⑤b）において英語能力により出願される方のみ提出してください。
サ	国籍・在留資格を証明できる書類	旅券の写し又は住民票の写し又は住民票記載事項証明書（日本国外在住者は住民票の写し、住民票記載事項証明書は不要です。）住民票の写し、住民票記載事項証明書は、マイナンバーの記載がないものを提出してください。
シ	国費外国人留学生であることを証明できる書類	出身大学等の所定のもの 日本政府（文部科学省）国費外国人留学生のみ提出してください。

### （3） 出願に関する注意事項

- ① 出願方法は「書留郵便」による郵送とし、出願期間を過ぎて到着したものは受理しませんので、郵便事情を考慮のうえ、余裕を持って発送してください。
- ② 電話・FAX・電子メール等による出願は受理しません。（ただし、海外在住者については、「（4）海外からの郵送を伴う書類の提出について」に記載のとおり、電子メールによる出願を認めます。）
- ③ 出願書類の提出後の内容変更は認めません。また、受理した出願書類は返還しません。
- ④ いったん払い込んだ入学検定料については、次のア又はイに該当する場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。（ア又はイに該当する場合は、13ページをご覧ください。）  
ア 入学検定料を払い込んだが出願しなかった又は出願書類が受理されなかった。  
イ 入学検定料を誤って二重に払い込んだ。
- ⑤ 事前の入学資格審査で提出した書類については、再提出する必要はありません。
- ⑥ 外国人留学生の志願者で、現在、本学の在学者及び研究生等として在籍している者については、提出書類のうちケ～シまでを省略することができます。
- ⑦ 三重大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づき、「国立大学法人三重大学安全保障輸出管理規程」を定め、外国人留学生の受入れに際して厳格な審査を実施しています。規制事項に該当する場合は、希望する教育が受けられない場合や研究ができない場合があります。

【参考】安全保障輸出管理（三重大学）

<https://www.crc.mie-u.ac.jp/rm/export/>

Security Export Control Handbook（経済産業省）

[https://www.meti.go.jp/policy/anpo/seminer/shiryo/handbook\\_e.pdf](https://www.meti.go.jp/policy/anpo/seminer/shiryo/handbook_e.pdf)

### （4） 海外からの郵送を伴う書類の提出について

新型コロナウイルスの流行により、海外からの郵便について遅延が生じる恐れがあるため、募集要項に記載するすべての選抜のあらゆる書類の提出において、海外からの郵送を伴う場合について、以下のとおりとします。

- ① 海外在住者が提出をするあらゆる書類について、電子ファイルによるメールでの提出を認める。ただし、証明書については、必ずpdfファイルであることとし、画像ファイル（jpg, bmp, png等）は受理しない。また、pdf化する際にはその書類全体について行うこととする。
- ② 日本国内在住者が海外から書類を取り寄せる必要がある場合、提出時において、その書類についてpdfファイルによるメールでの提出又はコピーによる提出を認める。
- ③ 上記①②により電子ファイル又はコピーにより提出した書類については、後日、原本を提出すること。



## IV. 入学者選抜方法等

### (1) 入学者選抜方法

提出書類の審査，オンラインによる口述試験及び面接の結果を総合して行います。

なおインターネットコミュニケーションソフトウェアのZoomを用いた面接試験を予定していますので，使用可能な環境を準備してください。また，面接の際に連絡が可能なメールアドレスを出願書類に明記していただくとともに，以下のメールアドレス（eng-nyushi@eng.mie-u.ac.jp）宛に表題を「令和4年度三重大学大学院工学研究科博士前期課程推薦による選抜志願者」とし，本文に氏名，所属学校等名及び志望専攻名を記載してメールを送信してください。

### (2) 試験日程

令和3年7月8日(木)

「注」 試験開始時間は，受験票を送付する際に通知します。

## V. 合格者の発表

### (1) 発表日

令和3年7月16日(金) 10時頃

### (2) 発表方法

三重大学大学院工学研究科・工学部ホームページに「合格者受験番号一覧」を掲載するとともに，合格者に合格通知書を送付します。

三重大学大学院工学研究科・工学部ホームページ【<https://www.eng.mie-u.ac.jp/>】  
掲載期間：合格発表日から1週間程度

### (3) 合格発表に関する注意事項

- ① 電話等による可否の照会には一切応じられません。
- ② ホームページに掲載する「合格者受験番号一覧」は，本学が情報提供の一環として行うものであり，公式の合格発表は郵送による通知で行います。

## VI. 入学手続

### (1) 入学手続期間：令和4年3月下旬(予定)

### (2) 入学料及び授業料

- ① 入学料：282,000円(予定額)
- ② 授業料：前期分 267,900円(予定額)  
(年額 535,800円)(予定額)

- 「注」
1. 入学手続の詳細は，令和4年3月上旬に送付する「入学手続要項」でお知らせします。
  2. 入学料及び授業料は予定額ですので，改定されることがあります。
  3. 在学中に授業料の改定が行われた場合には，改定された新授業料が適用されます。
  4. 入学料及び授業料の免除，徴収猶予を希望する者は，入学料，授業料を納入する前に申し出てください。（詳細は入学手続要項で確認するか，学務部学生支援チーム授業料免除担当に問い合わせてください。）
  5. 本研究科では，職業等に従事しながら教育研究活動に取り組む者を対象とした「長期履修学生制度」を設けています。本制度については，14～15ページを参照してください。

令和3年度（令和3年10月入学）  
三重大学大学院工学研究科博士前期課程  
**推薦による選抜  
学生募集要項**

**I. 募集専攻及び選抜別募集人員**

専攻名	推薦による選抜 募集人員
機械工学専攻	実施しません
電気電子工学専攻	若干名
分子素材工学専攻	実施しません
建築学専攻	実施しません
情報工学専攻	実施しません
物理工学専攻	若干名
計	若干名

※入学後、博士課程5年一貫コースを選択することもできます。

**II. 出願資格**

出入国管理及び難民認定法に規定する「留学」の在留資格を取得又は取得見込みの外国人（日本国籍を有しないもの）で、下記の①～⑤のいずれかに該当する者、且つ志望する専攻に関する分野の学科・専攻等に在学し、学業成績が優秀な者として受入れ予定教員から推薦され、合格した場合には入学を確約できるもの。

- ① 学校教育法（昭和22年法律第26号）第83条第1項に定める大学を令和3年9月に卒業見込みの者
- ② 高等専門学校又は短期大学の専攻科（大学改革支援・学位授与機構より認定されたものに限る）を令和3年9月に修了し、学校教育法第104条第7項第1号の規定により大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与される見込みの者。
- ③ 大学改革支援・学位授与機構が認定した大学以外の教育施設（各省庁大学校）の大学学士課程に相当する課程を令和3年9月に修了し、学校教育法第104条第7項第2号の規定により大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与される見込みの者
- ④ 令和3年9月30日において、大学に3年在学する者であって、本研究科電気電子工学専攻の定める単位を優秀な成績で修得したと認める者。
- ⑤ 外国において学校教育における16年の課程を修了した者もしくは令和3年9月30日までに修了見込みの者で、次のいずれかに該当する者次のいずれかに該当する者
  - a) 国費外国人留学生として採用予定の者
  - b) 三重大学の大学間及び学部間交流協定校を修了した者又は令和3年9月30日までに修了見込みの者で、且つ日本語能力試験レベルN2以上または各種英語能力試験においてCEFR B1相当以上であり、GPAが2.5以上である者。

- 「注」
- 1 在学する学科・専攻等が、志望する専攻に関する分野であるか判断しがたい場合は、出願前に三重大学工学研究科チーム学務担当に問い合わせてください。その際、在学学校の学業成績証明書、シラバス等が必要となる場合があります。
  - 2 外国人留学生で合格し、入学しても、「留学」の在留資格を取得していない場合は、留学生（「留学」の在留資格を有する者）を対象とした各種奨学金や学生寮等への申請資格はありません。

3 出願資格④による出願を希望する者は、以下の手続により事前審査を受けてください。

1) 申請期間

令和3年5月17日(月)から5月28日(金)17時まで(必着)

2) 申請方法

申請期間内に以下の<入学資格審査申請書類等>を、郵送により三重大学工学研究科チーム学務担当へ提出してください。(ただし、海外在住者については、「Ⅲ. 出願手続 (4) 海外からの郵送を伴う書類の提出について」に記載のとおり、電子メールによる申請を認めます。)

<入学資格審査申請書類等>

書類等		出願資格	摘要
ア	入学資格審査申請書	④	【本研究科所定の用紙】
イ	履歴書	④	【本研究科所定の用紙】
ウ	在学大学等の在学証明書	④	出身大学(学校)所定のもの (本学工学部在学者は不要です。)
エ	在学大学等の成績証明書	④	発行者において厳封したもの
オ	在学大学等の教育課程表(写し)	④	履修案内や授業要目に記載されている、授業科目表及び卒業(修了)要件のコピー (本学工学部在学者は不要です。)
カ	志望理由書	④	【本研究科所定の用紙】

3) 申請に関する注意事項

- ① 【本研究科所定の用紙】は、事前に三重大学工学研究科ホームページにてダウンロードしてください。
- ② 郵送により申請する場合は、「書留郵便」としてください。なお、申請期間を過ぎて到着したものは受理いたしませんので、郵便事情を考慮のうえ、余裕を持って発送してください。
- ③ 電話・FAX・電子メール等による申請は受け付けません。(ただし、海外在住者については、「Ⅲ. 出願手続 (4) 海外からの郵送を伴う書類の提出について」に記載のとおり、電子メールによる申請を認めます。)
- ④ 申請書類の提出後の内容変更は認めません。

4) 入学資格審査の方法及び審査結果の通知

入学資格審査は提出された書類により行い、審査結果は令和3年6月10日(木)以降に本人宛に速達郵便にて通知します。また、入学資格が認定された者には「入学資格認定書」を交付します。

5) 入学資格認定後の出願手続について

- ① 入学資格を認定された者は、結果通知とあわせて送付する案内と、「Ⅲ. 出願手続」(9~10ページ)に基づき、出願の手続を行ってください。
- ② 出願書類のうち入学資格審査申請の際に提出した書類については、再提出の必要はありません。

6) 最終成績審査

合格した者に対し、令和4年3月に出身大学等の成績証明書により最終成績審査を行います。審査の詳細については、合格通知書を送付する際に改めて通知します。

7) 出願資格④に関する注意事項

出願資格④により本研究科に入学した者の学部学生としての学籍上の身分は退学となりますので、種々の国家試験、資格試験で大学の学部を卒業することを受験資格としているものについては、受験資格がないこととなります。

### Ⅲ. 出 願 手 続

(1) 出願期間

令和3年6月14日(月) から 6月18日(金) 17時まで (必着)

(2) 出願方法

入学志願者は、出願期間内に以下の<出願書類等>を、郵送により三重大学工学研究科チーム学務担当へ提出してください。(ただし、海外在住者については、(4) 海外からの郵送を伴う書類の提出についてに記載のとおり、電子メールによる出願を認めます。)

<出願書類等>

書 類 等		摘 要
ア	入 学 志 願 票	【本研究科所定の用紙】 記入の際は、志願票裏面の「入学志願票記入要領」を参照してください。 「振込証明書」を所定の欄にはがれないように、のりで貼り付けてください。 なお、入学志願票に記載する住所に合格通知書等を送付します。
イ	受 験 写 真 票 ・ 受 験 票	【本研究科所定の用紙】 出願前3か月以内に撮影した、縦4cm、横3cm、無背景、無帽、正面向きのものを、所定の枠内にはがれないように、のりで貼り付けてください。
ウ	入 学 検 定 料	30,000円 ※振込手数料が別途必要となります。 振込の際には、振込用紙に記載の【納入方法】と【注意事項】を必ずお読みください。 (日本政府(文部科学省)国費外国人留学生は不要です。)
エ	卒 業 (見 込) 証 明 書 等	出身大学等の所定のもの(本学部在学者は不要です。) 高等専門学校専攻科在籍者等の出願資格②により出願する者は、学士学位取得見込証明書を併せて提出してください。
オ	出 身 大 学 等 の 成 績 証 明 書	出身大学等の所定のもので、発行者において厳封したもの 高等専門学校専攻科在籍者は、本科及び専攻科の成績証明書を提出してください。
カ	受 験 票 送 付 用 封 筒	長形3号の定形封筒に、郵便番号・住所・氏名を明記し、374円分の郵便切手を貼ってください。(海外在住者は不要です。)
キ	三 重 大 学 私 費 外 国 人 留 学 生 特 待 生 (入 学 料 及 び 授 業 料 免 除 型)	【本学所定の用紙】 三重大学では優秀な留学生を受け入れるため、入学料及び授業料を標準修業年限の間全額免除する三重大学独自の奨学生制度を2019年度から実施しています。詳しくは16ページを確認した上必要書類を提出してください。
ク	推 薦 書	【本研究科所定の用紙】 在学大学等の指導教員が作成し、厳封したもの
ク	志 望 理 由 書	【本研究科所定の用紙】
ケ	日 本 語 能 力 を 確 認 可 能 な 書 類	JASSO(日本学生支援機構)が実施する日本留学試験においてN2レベル以上であると認められる方。 出願資格⑤b)において日本語能力により出願される方のみ提出してください。
コ	英 語 能 力 を 確 認 可 能 な 書 類	文部科学省による各資格・検定試験とCEFRとの対照表(別紙)においてB2以上であると認められる方。 出願資格⑤b)において英語能力により出願される方のみ提出してください。

サ	国籍・在留資格を証明できる書類	旅券の写し又は住民票の写し又は住民票記載事項証明書 (日本国外在住者は住民票の写し、住民票記載事項証明書は不要です。) 住民票の写し、住民票記載事項証明書は、マイナンバーの記載がないものを提出してください。
シ	国費外国人留学生であることを証明できる書類	出身大学等の所定のもの 日本政府(文部科学省)国費外国人留学生のみ提出してください。

### (3) 出願に関する注意事項

- ① 出願方法は「書留郵便」による郵送とし、出願期間を過ぎて到着したものは受理しませんので、郵便事情を考慮のうえ、余裕を持って発送してください。
- ② 電話・FAX・電子メール等による出願は受理しません。(ただし、海外在住者については、(4) 海外からの郵送を伴う書類の提出についてに記載のとおり、電子メールによる出願を認めます。)
- ③ 出願書類の提出後の内容変更は認めません。また、受理した出願書類は返還しません。
- ④ いったん払い込んだ入学検定料については、次のア又はイに該当する場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。(ア又はイに該当する場合は、13 ページをご覧ください。)  
ア 入学検定料を払い込んだが出願しなかった又は出願書類が受理されなかった。  
イ 入学検定料を誤って二重に払い込んだ。
- ⑤ 事前の入学資格審査で提出した書類については、再提出する必要はありません。
- ⑥ 外国人留学生の志願者で、現在、本学の在学者及び研究生等として在籍している者については、提出書類のうちケ～シまでを省略することができます。
- ⑦ 三重大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づき、「国立大学法人三重大学安全保障輸出管理規程」を定め、外国人留学生の受入れに際して厳格な審査を実施しています。規制事項に該当する場合は、希望する教育が受けられない場合や研究ができない場合があります。

【参考】安全保障輸出管理(三重大学)

<https://www.crc.mie-u.ac.jp/rm/export/>

Security Export Control Handbook(経済産業省)

[https://www.meti.go.jp/policy/anpo/seminer/shiryo/handbook\\_e.pdf](https://www.meti.go.jp/policy/anpo/seminer/shiryo/handbook_e.pdf)

### (4) 海外からの郵送を伴う書類の提出について

新型コロナウイルスの流行により、海外からの郵便について遅延が生じる恐れがあるため、募集要項に記載するすべての選抜のあらゆる書類の提出において、海外からの郵送を伴う場合について、以下のとおりとします。

- ① 海外在住者が提出をするあらゆる書類について、電子ファイルによるメールでの提出を認める。ただし、証明書については、必ず pdf ファイルであることとし、画像ファイル(jpg, bmp, png 等)は受理しない。また、pdf 化するにはその書類全体について行うこととする。
- ② 日本国内在住者が海外から書類を取り寄せる必要がある場合、提出時において、その書類について pdf ファイルによるメールでの提出又はコピーによる提出を認める。
- ③ 上記①②により電子ファイル又はコピーにより提出した書類については、後日、原本を提出すること。

## IV. 入学者選抜方法等

### (1) 入学者選抜方法

提出書類の審査、オンラインによる口述試験及び面接の結果を総合して行います。

なおインターネットコミュニケーションソフトウェアのZoomを用いた面接試験を予定していますので、使用可能な環境を準備してください。また、面接の際に連絡が可能なメールアドレスを出願書類に明記していただくとともに、以下のメールアドレス(eng-nyushi@eng.mie-u.ac.jp)宛に表題を「令和3年度三重大学大学院工学研究科博士前期課程推薦による選抜志願者」とし、本文に氏名、所属学校等名及び志望専攻名を記載してメールを送信してください。

### (2) 試験日程

令和3年7月8日(木)

「注」 試験開始時間は、受験票を送付する際に通知します。

## V. 合格者の発表

- (1) 発表日  
令和3年7月16日(金) 10時頃
- (2) 発表方法  
三重大学大学院工学研究科・工学部ホームページに「合格者受験番号一覧」を掲載するとともに、合格者に合格通知書を送付します。
- 【三重大学大学院工学研究科・工学部ホームページ【<https://www.eng.mie-u.ac.jp/>】  
掲載期間：合格発表日から1週間程度】
- (3) 合格発表に関する注意事項
- ① 電話等による可否の照会には一切応じられません。
  - ② ホームページに掲載する「合格者受験番号一覧」は、本学が情報提供の一環として行うものであり、公式の合格発表は郵送による通知で行います。

## VI. 入学手続

- (1) 入学手続期間：令和3年9月14日(火)～9月21日(火) (予定)

※日本国外に在住する者のみ別途指示する期間内に提出

- (2) 入学料及び授業料
- ① 入学料：282,000円(予定額)
  - ② 授業料：後期分 267,900円(予定額)  
(年額 535,800円)(予定額)

- 「注」
1. 入学手続の詳細は、合格通知書を送付する際にお知らせします。
  2. 入学料及び授業料は予定額ですので、改定されることがあります。
  3. 在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定された新授業料が適用されます。
  4. 本研究科では、職業等に従事しながら教育研究活動に取り組む者を対象とした「長期履修学生制度」を設けています。本制度については、14～15ページを参照してください。

# 各 選 抜 共 通 事 項

## I. 障がい等のある入学志願者との事前相談

障がい等がある者に対しては、受験及び修学上の配慮が必要となる場合がありますので、出願に先立ち、必ず次により相談してください。

なお、相談の内容によっては、対応に時間を要することもありますので、できるだけ早い時期に相談してください。

また、相談の時期後に本学を志願することとなった場合及び不慮の事故等により障がいを有することとなった場合は、その時点で速やかに相談してください。

事前相談は障がい等のある志願者に本学の現状をあらかじめ知っていただき、受験及び修学に関してより良い方法やあり方を模索するためのもので、障がいのある方の受験や修学を制限するものではありません。

### 事前相談の対象となる者【参考】

区 分	対象となる者
① 視覚障害	<ul style="list-style-type: none"> <li>点字による教育を受けている者</li> <li>両眼の矯正視力がおおむね 0.3 未満の者のうち、拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度の者</li> <li>視力以外の視機能障害が高度な者のうち、拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度の者</li> <li>上記以外で視覚に関する配慮を必要とする者</li> </ul>
② 聴覚障害	<ul style="list-style-type: none"> <li>両耳の平均聴力レベルが 60 デシベル以上の者</li> <li>上記以外で聴覚に関する配慮を必要とする者</li> </ul>
③ 肢体不自由	<ul style="list-style-type: none"> <li>体幹の機能障害により座位を保つことができない者又は困難な者</li> <li>両上肢の機能障害が著しい者</li> <li>上記以外で肢体不自由者に関する配慮を必要とする者</li> </ul>
④ 病弱	<ul style="list-style-type: none"> <li>慢性の呼吸器疾患、心臓疾患、腎臓疾患、消化器疾患等の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度の者、又はこれに準ずる者</li> </ul>
⑤ 発達障害	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習障害、注意欠陥多動性障害、自閉症、アスペルガー症候群、広汎性発達障害等のため配慮を必要とする者</li> </ul>
⑥ その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>①～⑤の区分以外の者で配慮を必要とする者</li> </ul>

「注」 日常生活においてごく普通に使用されている補聴器、松葉杖、車椅子等を使用して受験する場合も、試験場設定等において何らかの配慮が必要となる場合がありますので、事前に相談してください。

### (1) 受験上の配慮の例

<ul style="list-style-type: none"> <li>試験場への乗用車の入構</li> <li>車椅子の使用</li> <li>補聴器の使用</li> <li>連絡事項の文書による伝達</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>試験室を別室に設定</li> <li>座席を最前列/最後列/出入口近く等に設定</li> <li>試験室を障がい者用トイレ近くに設定</li> <li>試験時間の延長</li> </ul>
---	---

### (2) 相談の方法

電話又はFAXなどによりあらかじめ工学研究科チーム学務担当に連絡した上で、次の内容を記載した相談書を工学研究科チーム学務担当に郵送などの方法で提出してください。

なお、相談の内容によっては入学志願者又は出身大学関係者等との面談を行うことがあります。

① 入学志願者の氏名、性別、生年月日、住所、連絡先の電話番号

- ② 出身大学等名・卒業（見込み）年月日
- ③ 志望専攻名
- ④ 障がいの種類・程度（医師の診断書又は身体障害者手帳等の写しを提出してください。）
- ⑤ 受験及び修学上希望する具体的配慮
- ⑥ 大学等における生活状況等（主として授業関係）
- ⑦ その他参考となる事項

(3) 相談の時期

令和3年6月4日（金）17時（日本時間）まで（土曜・日曜・祝日を除く）

(4) 問い合わせ先

三重大学工学研究科チーム学務担当

〒514-8507 津市栗真町屋町1577

TEL：059-231-9469

FAX：059-231-9471

三重大学の取組み

三重大学では、「三重大学における障がいのある学生の支援に関する基本方針」を定めており、各学部および学内関連組織と連携を図りながら、学生支援に取り組んでいます。詳細は以下のウェブページをご参照ください。

URL: <https://www.mie-u.ac.jp/profile/shogai-shien-policy/>

## II. 入学検定料の返還について

いったん払い込まれた入学検定料は原則として返還されませんが、次のア又はイに該当する場合は、払い込み者本人からの請求により、払い込み済みの入学検定料を返還します。

(1) 入学検定料が返還できる場合

- ア. 入学検定料を払い込んだが出願しなかった又は出願書類が受理されなかった場合
- イ. 入学検定料を誤って二重に払い込んだ場合

(2) 返還請求方法について

便せん等を使用し、次のア～オを明記した「入学検定料返還請求願」を作成し、必ず「入学検定料受取書」（コピー可）を添付して速やかに三重大学財務部経理チーム（〒514-8507 三重県津市栗真町屋町1577）へ郵送してください。（封筒には「入学検定料返還請求願在中」と朱書きしてください。）後日、財務部経理チームから返還手続に必要な書類を郵送します。

なお、返還時期は入学検定料返還請求願を受理してから概ね1ヶ月後を予定しています。

ア. 返還請求の理由

（例）令和4年度三重大学大学院工学研究科博士前期課程入学試験に出願しなかったため

イ. 氏名（フリガナ）

ウ. 現住所

エ. 連絡先の電話番号

オ. 出身大学等名



### Ⅲ. 大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例措置

近年、科学技術の進歩に伴い、大学院における社会人技術者、教育者、研究者の再教育への要請が高まっています。しかし、通常の教育方法のみで大学教育を実施した場合、社会人は最低2年間その勤務を離れて修学する必要があるため、大学教育を受ける機会が制約されています。

このため、大学院設置基準第14条では、「大学院の課程においては、教育上特別の必要があると認められる場合には、夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができる。」と規定され、社会人技術者、教育者、研究者の修学に特別措置を行うことができるよう配慮がなされています。

これを踏まえ、本研究科では、大学院の履修を希望する社会人技術者、教育者、研究者等を積極的に受け入れるため、概ね次のような措置を行っています。

1. 通常の授業時間帯のほかに、夜間は平日の第11・12時限（18：00～19：30）まで、休日は土曜日・日曜日の第1・2時限（8：50～10：20）から第7・8時限（14：40～16：10）の間に授業を受けることができます。また、必要に応じて長期休暇を利用して授業を受けることもできます。
2. 上記による場合は、指導を希望する教員と十分相談の上、実施可能な履修計画を立ててください。

### Ⅳ. 長期履修学生制度

本研究科博士前期課程は標準修業年限が2年ですが、職業等に従事しながら研究に取り組むには時間的制約など困難も多く、修了までに2年以上要することもあり、経済的負担が大きくなります。

そこで本研究科では、職業等に従事している者でも個人の事情に応じて柔軟に標準修業年限（2年）を超えて履修し、学位等を取得できるよう、「**長期履修学生制度**」を設けています。

#### (1) 長期履修の期間

長期履修学生として認められる期間は最大4年で、それぞれの年（学期）に支払う授業料は、標準修業年限の2年間に支払うべき授業料の総額を、長期履修学生として認められた修業年限で除した額となります。（下記【授業料の納入例】参照）

#### 【授業料の納入例】

##### ① 標準修業年限（2年）

1年目 (535,800 円)	2年目 (535,800 円)
-----------------------	-----------------------

<授業料総額 1,071,600円>

##### ② 3年の長期履修学生として認められた場合

1年目 (357,200 円)	2年目 (357,200 円)	3年目 (357,200 円)
-----------------------	-----------------------	-----------------------

<授業料総額 1,071,600円>

1,071,600円÷3年=357,200円（1年間の授業料）

③ 4年の長期履修学生として認められた場合

1年目 (267,900 円)	2年目 (267,900 円)	3年目 (267,900 円)	4年目 (267,900 円)
-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------

<授業料総額 1,071,600 円>

1,071,600 円 ÷ 4年 = 267,900 円 (1年間の授業料)

「注」 【授業料の納入例】に記載されている授業料額は、予定額(年額535,800円)を基にしたもので、授業料の改定が行われた場合には、改定された新授業料が適用されます。

(2) 申請方法

長期履修を希望する場合は、申請期間内に「長期履修申請書(本研究科所定の用紙)」及び「在職証明書等(在職証明書又はそれに準ずる書類)」を、郵送により三重大学工学研究科チーム学務担当へ提出してください。(土曜・日曜・祝日を除く)

申請期間：令和3年6月14日(月)から6月18日(金)17時まで(必着)
--------------------------------------

(3) 注意事項

- ① 長期履修の申請要件や長期履修申請書(本研究科所定の用紙)の入手方法については、事前に三重大学工学研究科チーム学務担当にお問い合わせください。
- ② 長期履修を希望する場合は、必ず所定の手続により申請をしてください。入学試験の出願書類に長期履修を希望する旨の記入があっても、長期履修は認められません。

## V. 個人情報の利用

独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律(以下「個人情報保護法」という。)が、平成17年4月1日から施行されました。

本学が入学者選抜を通じて取得した個人情報の利用については、入学者選抜に係る業務のほか、次のとおりです。

- (1) 合格者の住所・氏名等を入学手続に係わる業務で利用します。
- (2) 入学手続者の住所・氏名等を入学後の学籍管理等の修学に関わる業務並びに健康診断等の保健管理に関わる業務で利用します。
- (3) 入学手続者の住所・氏名等を入学料並びに授業料徴収等の納付金管理に係わる業務で利用します。
- (4) 入学者選抜で取得した成績等の個人情報を、入学料免除及び授業料免除並びに奨学生選考等の修学支援に係わる業務で利用します。
- (5) 個人が特定できない形で、統計処理等の付随する業務並びに本学における入学者選抜に関する調査研究で利用します。

※ 本学が取得した個人情報は、個人情報保護法第9条に規定されている場合を除き、出願者の同意を得ることなく、他の目的で利用または第三者に提供することはありません。

## Ⅵ. 三重大学大学院研究科に入学する私費外国人特待留学生制度募集要項

### I 概要

三重大学では、優秀な留学生を受け入れるため、入学料及び授業料を標準修業年限の間、全額免除する三重大学独自の奨学制度を新設しました。

令和3年度の採用予定人員は、全学で12名です。（工学研究科は2名）

なお、4月入学者で採用予定人員が満たされた場合には、10月入学者に対しては募集を行いません。

### II 応募資格

以下の（1）～（4）すべてを満たすこと。

- （1）三重大学大学院工学研究科の入学試験に合格し、入学予定の者。
- （2）大学院在学中は、私費外国人留学生（在留資格は留学ビザ）として在学する者  
なお、国費（文部科学省）留学生及び外国政府派遣留学生は対象ではない。
- （3）学業、人物ともに優れており、心身ともに健康であること
- （4）国際交流センターから依頼する三重大学が実施する各種行事や調査等に参加、協力すること

※新たに海外から留学する者のほか、申請時に本学に在籍（正規生、非正規生であるかを問わず）している者も対象とします。

### III 申請方法、申請締め切り

申請には推薦書が必要となるため、受入予定教員又は学務担当に問い合わせてください。

### IV 奨学金と奨学期間

奨学金の種類：入学料及び授業料免除型

- |         |        |      |                    |
|---------|--------|------|--------------------|
| （1）奨学金額 | 博士後期課程 | ：入学料 | 282,000円（予定額）を全額免除 |
|         |        | 授業料  | 520,800円（予定額）を全額免除 |
|         | 博士前期課程 | ：入学料 | 282,000円（予定額）を全額免除 |
|         |        | 授業料  | 535,800円（予定額）を全額免除 |
- （2）奨学（免除）期間：標準修業年限

### V 選考方法及び選考結果の発表について

推薦書、成績証明書、研究等業績調書及び研究計画書により選考します。

採否については、合格発表時に通知します。

### VI 留意事項

当該特待生に採用後、虚偽の申請が判明したとき、又は特待留学生としてふさわしくない行為があった場合には、特待生としての身分を取消されることがあります。

### VII 規程

本制度は、「三重大学大学院研究科に入学する私費外国人特待留学生制度に関する規程」に基づきます。

### VIII 本件問い合わせ先

三重大学工学研究科チーム学務担当

TEL：059-231-9469

FAX：059-231-9471

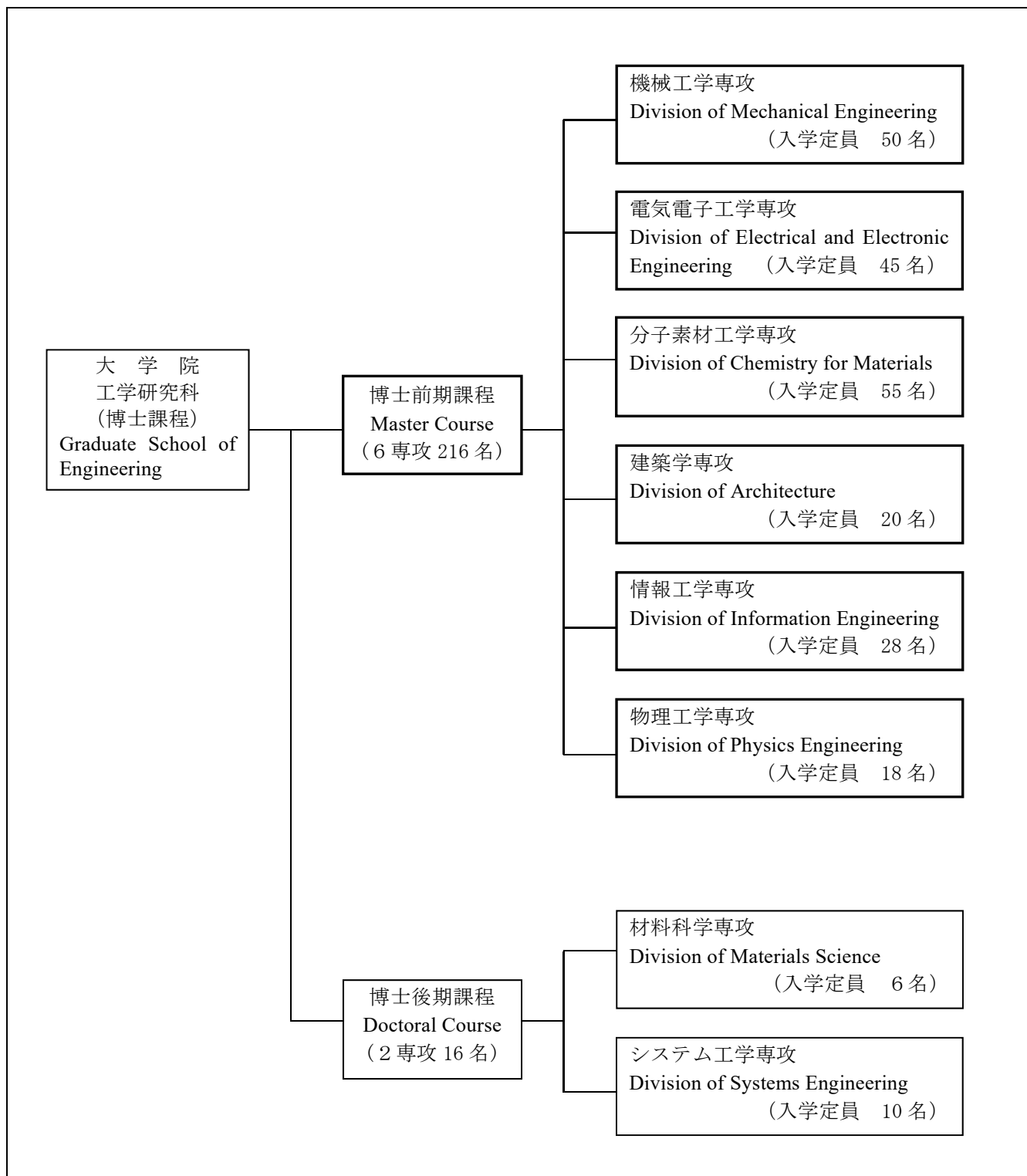
E-mail：eng-gakumu@eng.mie-u.ac.jp

## 三重大学大学院工学研究科（博士前期課程）の概要

三重大学大学院工学研究科は、修業年限2年で修了者に「修士」の学位が授与される博士前期課程と、修業年限3年で修了者に「博士」の学位が授与される博士後期課程から成り、博士前期課程には、機械工学専攻、電気電子工学専攻、分子素材工学専攻、建築学専攻、情報工学専攻、物理工学専攻の6専攻があります。

各専攻の教育研究分野、担当教員等については、「Ⅱ. 各専攻紹介」をご覧ください。

### I. 工学研究科組織図



## II. 各専攻の紹介

### 【機械工学専攻】

講座	教育研究分野	担当教員	教育研究分野の内容
量子・電子機械	量子応用工学	教授 小竹 茂夫 助教 河村 貴宏	量子アルゴリズムの制御・振動への応用, 力学物性, 結晶成長, 固体電子論, 薄膜作成, 物性計測
	知能ロボティクス	教授 矢野 賢一 准教授 加藤 典彦 助教 松井 博和	ロボット工学, 制御工学, 人工知能, 情報処理, 電子機械学, ヒューマンインターフェース, 医療・福祉工学
	人間支援システム	教授 池浦 良淳 准教授 早川聡一郎 助教 堤 成可	機械力学, 人間-機械系, ハイブリッドダイナミカルシステム, 制御工学, 人間工学, ロボット工学
	生体システム工学	教授 稲葉 忠司 准教授 吉川 高正 助教 馬場創太郎	物質及び構造物の強さ・変形及び安定性, CAE, バイオメカニクス
機能加工	材料機能設計	准教授 川上 博士 助教 尾崎 仁志	材料の機械的及び化学的諸性質, 並びに各種材料の溶接に関する基礎と応用
	集積加工システム	教授 高橋 裕 准教授 中西 栄徳	高機能化加工, 環境適合加工, 難加工材加工, 創質プロセッシング, 通電加熱応用材料加工法の開発
環境エネルギー	エネルギー環境工学	教授 前田太佳夫 准教授 鎌田 泰成	流体力学, 自然エネルギー利用技術(風力・マイクロ水力等), エネルギー環境機械及び装置
	熱エネルギーシステム	教授 廣田 真史 准教授 丸山 直樹 准教授 西村 顕	熱工学, 伝熱工学, 乱流熱・物質輸送, エネルギー変換工学, 数値シミュレーション, レーザー計測, 環境工学, 省エネルギー技術, 燃料電池, 熱交換器
	流動制御	教授 辻本 公一 准教授 安藤 俊剛 助教 高橋 護	流体熱工学, 混相流工学, 環境・エネルギー工学, 流体・熱・物質輸送現象, 実験と数値シミュレーション

【 電気電子工学専攻 】

講座	教育研究分野	担当教員	教育研究分野の内容
電気システム工学	電機システム	教授 駒田 諭 教授 弓場井一裕 准教授 山村 直紀 助教 矢代 大祐 助教 小山 昌人	モーションコントロール（福祉・医療ロボット，ビジュアルサーボ，蝕覚学，ネットワーク化制御など），制御理論（データ駆動型制御器設計，ロバスト制御）
	制御システム		制御システム（電動機，電力変換器および各種制御機器）に関する制御理論と応用
	エネルギーシステム		自然エネルギー利用発電システム，省エネルギー電力制御システム，高効率電力変換システム
情報・通信システム工学	情報処理	准教授 川中 普晴	画像処理，情報メディア（文書画像，映像）理解，生体信号処理，機械学習，教育支援システム
	通信工学	教授 森 香津夫 准教授 羽多野裕之助 助教 眞田 耕輔	移動体通信，衛星通信，無線LAN，高度交通システム，アドホックネットワーク
	計算機工学	教授 高瀬 治彦 准教授 北 英彦	ソフトウェア工学，教育支援システム，人工知能
電子物性工学	オプトエレクトロニクス	(教授 三宅 秀人) 准教授 元垣内敦司 助教 正直花奈子	窒化物半導体の結晶成長と物性評価，ナノフォトニクス，オプトエレクトロニクス応用，電子デバイス応用，光制御技術，照明応用
	有機エレクトロニクス	准教授 松井龍之介 准教授 青木 裕介	金属接続，導通現象，高分子材料，絶縁特性，コネクタ，複合体材料，有機エレクトロニクス，フォトニクス，有機・無機ハイブリッド材料の機能化
	量子エレクトロニクス	教授 畑 浩一 准教授 佐藤 英樹 准教授 永井 滋一	新規ナノ材料を原子レベルで ” 観る ” ， ” 創る ” ， ” 測る ” ための高輝度量子（電子，イオン，光子）ビーム源の開発，新規ナノ材料生成プロセス開発，ナノ材料の電子デバイス応用
	高周波フォトニクス	教授 村田 博司 助教 大田垣祐衣	光ファイバ通信，マイクロ波フォトニクス，光導波路デバイス，非線形工学デバイス

【 分子素材工学専攻 】

講座	教育研究分野	担当教員	教育研究分野の内容
分子設計化学	高分子設計化学 (高分子合成化学)	教授 久保 雅敬 准教授 宇野 貴浩	高分子の分子設計と構造制御及び機能性高分子材料の開発
	有機精密化学 (有機合成化学)	教授 八谷 巖 准教授 溝田 功	新しい有機合成反応の精密設計とファインケミカルズ合成への応用
	有機機能化学	教授 北川 敏一 (教授 岡崎 隆男) (准教授 平井 克幸)	新しい機能性有機分子の設計と合成, 有機反応中間体の発生と反応
	計算化学 (量子ナノ機能化学)	教授 八尾 浩史 准教授 三谷 昌輝 助教 大西 拓	量子化学計算に基づく化学反応や分子物性などの理論解析
生物機能工学	エネルギー変換化学	教授 今西 誠之 准教授 森 大輔 助教 田港 聡	応用電気化学, 固体化学, エネルギー変換化学及び無機機能材料の開発
	レーザー光化学 (ナノ材料物理化学)	教授 伊藤 彰浩 准教授 小塩 明	機能性有機分子材料の電子状態解析ならびにレーザー, アーク放電, 化学気相成長法などによるナノカーボンやナノシリコン物質等の合成
	分析環境化学	教授 金子 聡 准教授 勝又 英之	分析化学(極微量成分の分離・分析法の開発)と環境化学(炭酸ガスの還元・固定化, 有害化合物の無害化・無毒化)
	分子生物工学	教授 湊元 幹太	分子生物工学, 遺伝子細胞工学, 生化学に基づく次世代モノクローナル抗体作製技術の開発および人工細胞モデルの構築
素材化学	有機素材化学	教授 鳥飼 直也 准教授 藤井 義久	高分子物性(界面・コロイド化学, 薄膜物性, ソフト複合材料)
	無機素材化学	教授 石原 篤 准教授 橋本 忠範	環境とエネルギーの調和, クリーンエネルギー, 環境触媒の開発, ニューガラス, ニューセラミックスの開発
	生体材料化学	教授 宮本 啓一 助教 晝河 政希	生体高分子(蛋白質化学, 多糖の化学など), 生体ゲル及び医療用高機能材料の開発

【 建築学専攻 】

講座	教育研究分野	担当教員	教育研究分野の内容
建 築 学  ( 建築 デザ イン メン ト )	建 築 計 画 系	教 授 富岡 義人 准教授 大月 淳 准教授 近藤 早映 助 教 大井 隆弘	医療・福祉施設計画, 地域施設計画, 教育・文化施設計画, 住宅計画, 参加者行動による建築計画, 市民参加公共空間計画, リビングラボ, ファシリティマネジメント, 建築意匠, 建築設計論, 建築構法計画, 建築ストック活用, 建築史
	建 築 環 境 設 備 系	教 授 永井 久也 准教授 寺島 貴根 准教授 北野 博亮	空調設備計画, 省エネルギー計画, 都市環境, 建築音響, 建築熱環境解析, 自然・未利用エネルギー
	建 築 構 造 系	教 授 三田 紀行 准教授 川口 淳 准教授 田端千夏子	建築各種構造, 建築構造材料, 建築振動学, 建築施工計画, 木質構造・構法, 建築防災工学, 建築保全工学, 建築構造物の不安定挙動
	地 域 防 災 系	教 授 浅野 聡 准教授 佐藤 公亮	都市・地域計画, 防災都市工学, 震災復興計画, 建築構造, 鋼構造, 構造力学

【 情報工学専攻 】

講座	教育研究分野	担当教員	教育研究分野の内容
コ ン ピ ユ ー タ サイ エ ン ス	コンピュータソフトウェア	教 授 河内 亮周 講 師 山田 俊行	理論計算機科学, 暗号理論, 量子情報科学, ソフトウェア基礎論, プログラムの解析・検証, アルゴリズム
	コンピュータアーキテクチャ	教 授 高木 一義 講 師 大野 和彦	集積システム設計, 組込みシステム, 設計自動化, 並列プログラミング, プログラム最適化, ソフトウェア開発支援
	コンピュータネットワーク	教 授 真鍋 哲也 准教授 鈴木 秀智	コンピュータ・ネットワーク, 情報セキュリティ, コンピュータビジョン, シミュレーション
知 能 工 学	パターン情報処理	教 授 成瀬 央 准教授 成枝 秀介	パターン情報処理, デジタル信号処理, 光ファイバ応用センシング
	人間情報学	教 授 林田 祐樹 准教授 森本 尚之 助 教 小川 将樹	人間情報工学, 自然言語処理, 生体情報処理
	ヒューマンインタフェース	教 授 若林 哲史 准教授 松岡 真如 助 教 盛田 健人	文字・パターン認識, 医用画像の処理・解析, ヒューマン・インタフェース

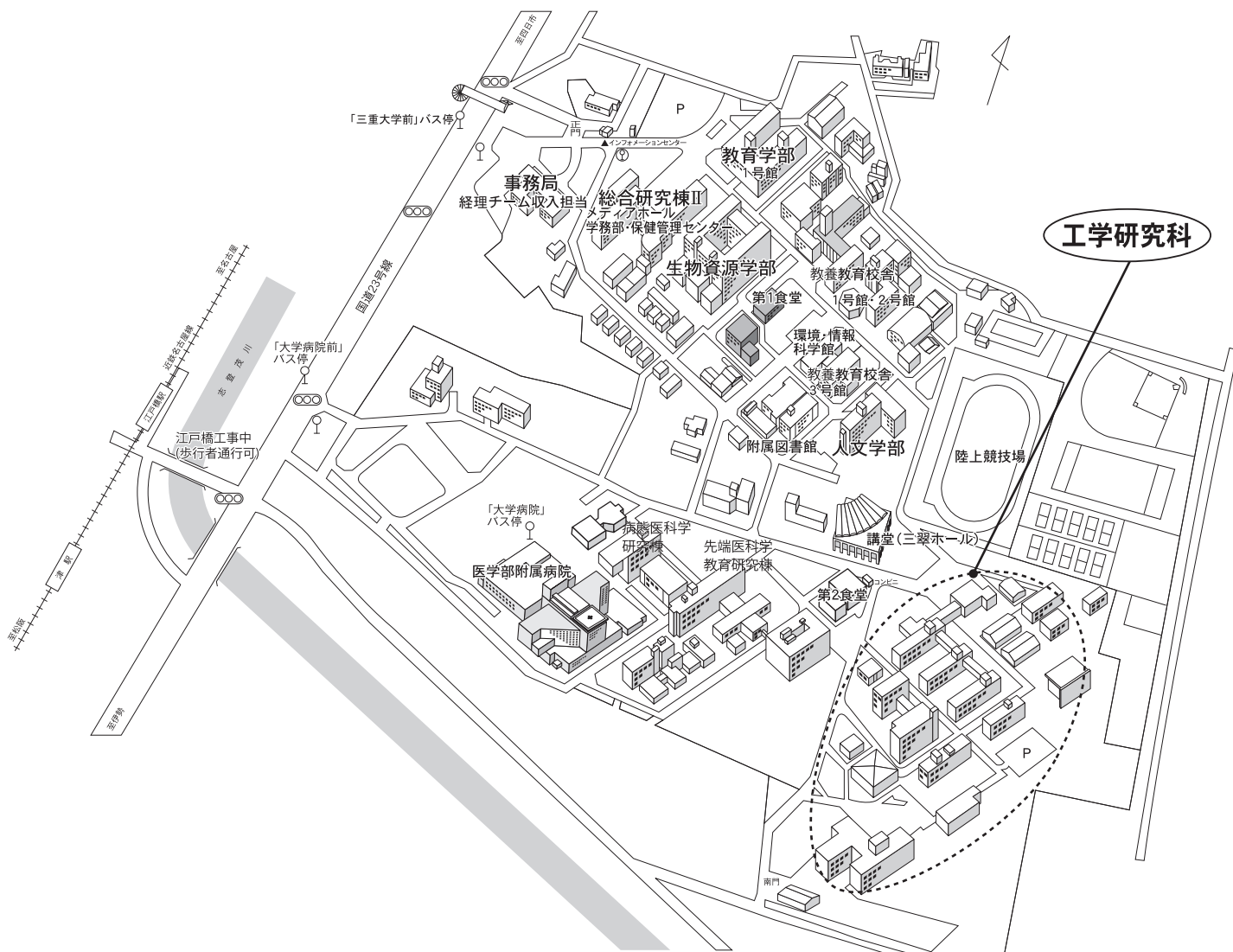
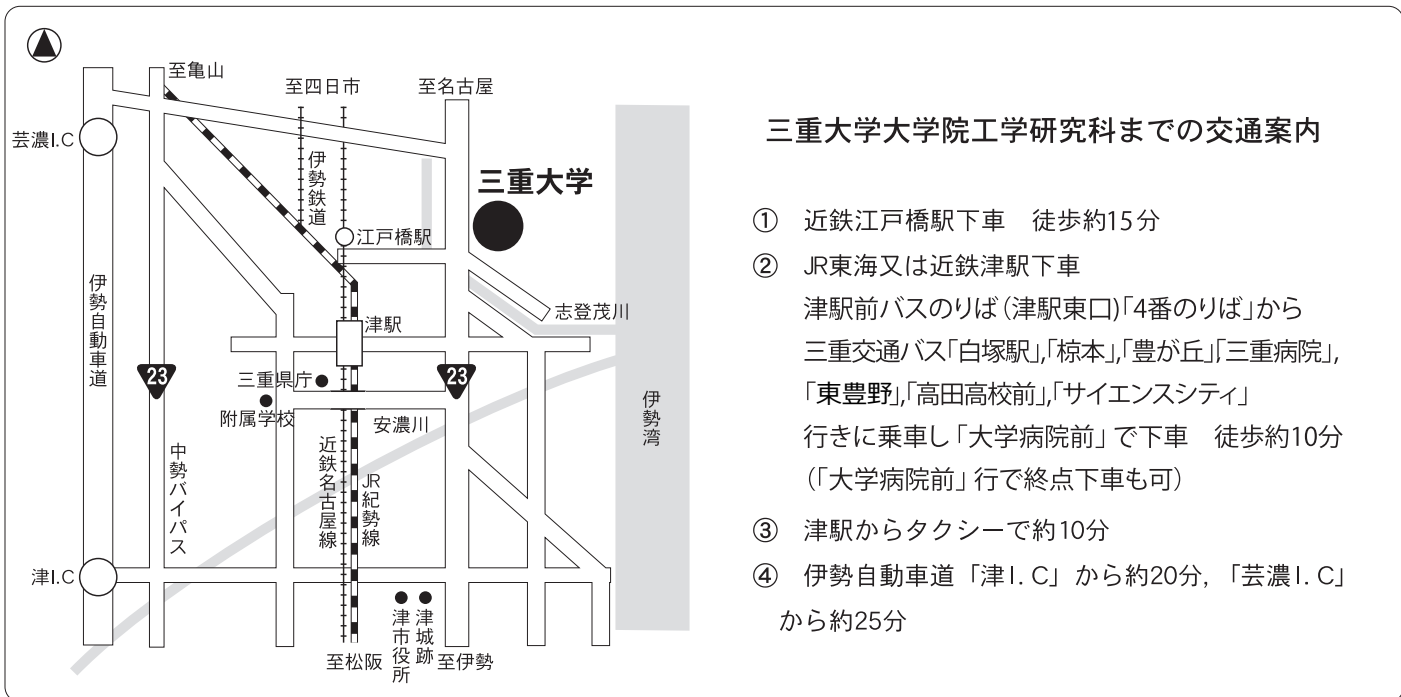


【 物理工学専攻 】

講座	教育研究分野	担当教員	教育研究分野の内容
量子工学	量子物理学	准教授 鳥飼 正志	多体系の物理学, 自己組織化, 相転移, 単純液体, 液晶
	物性物理学	教授 佐野 和博 准教授 内海 裕洋	物性基礎論, メゾ・ナノスコピック系の物理, 量子コンピューター, 電子相関, 固体電子論, 数理科学
ナノ工学	ナノデザイン	教授 中村 浩次 准教授 秋山 亨 助教 名和 憲嗣	量子応用, 材料設計, 物理計測, 量子計算, 計算機シミュレーション
	ナノセンシング	(教授 野呂 雄一)	デジタル信号処理, 神経回路網, 微小信号の検出, 音の計測・評価, 光計測, 光ファイバ応用技術, 高周波技術
	ナノエレクトロニクス	准教授 藤原 裕司	磁性材料工学, 軟磁性薄膜, 磁性微粒子, 磁気センサ
	ナノプロセッシング	准教授 中村 裕一 准教授 松井 正仁	フラクタル解析, バイオプロセッシング, ノンラディショナル加工, トライボロジー, 超高压力下の物性, 塑性加工解析

- 「注」 1. 記載内容は, 令和3年4月1日現在のものです。  
2. ( ) は兼務担当教員を示します。

# 三重大学大学院工学研究科案内図



## 各種問い合わせ先について

問い合わせ時間等：月曜日から金曜日の8時30分から17時まで（祝日は除きます。）

工学研究科の入学試験に関すること 授業科目・学修に関すること	三重大学工学研究科チーム学務担当 〒514-8507 三重県津市栗真町屋町 1577 TEL 059-231-9469 FAX 059-231-9471 E-mail eng-gakumu@eng.mie-u.ac.jp
奨学金（日本学生支援機構）に関すること	三重大学学務部学生支援チーム TEL 059-231-9061
入学料徴収猶予及び入学料・授業料免除に関すること	三重大学学務部学生支援チーム TEL 059-231-9678
学生寮に関すること	三重大学学務部学生支援チーム TEL 059-231-5371
入学料及び授業料の納入に関すること	三重大学財務部経理チーム TEL 059-231-9028

工学研究科の概要等については、三重大学大学院工学研究科・工学部ホームページをご覧ください。

**工学研究科・工学部ホームページ** <https://www.eng.mie-u.ac.jp/>

**工学研究科入試情報ホームページ** <https://www.eng.mie-u.ac.jp/admission/index.html>